

2023年度JCAR北極域研究計画ワークショップ  
プログラム

開催日: 2023年5月11日(木)9:30~18:00

場所: 国立極地研究所2階大会議室

要旨 番号	開始	終了	氏名	所属機関	タイトル
開会挨拶	9:30	— 9:35	山口 一		
座長			山口 一		
	9:35	— 10:30	青木 輝夫	国立極地研究所	JCAR長期構想について 全体 青木輝夫 自然科学 羽角博康 工学 山口一 人文科学 高倉浩樹 社会科学 大西富士夫 分野横断課題 礪波亜希 研究基盤の整備 兒玉裕二
座長			渡邊 研太郎		
1	10:30	— 10:35	飯島 慈裕	東京都立大学	北極域の永久凍土荒廃によるL-DLBシステムの発達とその水文・生態・人間活動への影響
2	10:35	— 10:40	斉藤 和之	海洋研究開発機構	北極圏の貯蔵文化とフードライフヒストリー
3	10:40	— 10:45	高倉 浩樹	東北大学 東北アジア研究センター	北極域先住民のウェルビーイングと電子メディア
4	10:45	— 10:50	中野 久美子	東北大学	永久凍土から目覚める病原体が人間社会に及ぼす影響の調査・評価
	10:50	— 10:55	(質疑応答)		
	10:55	— 11:05	休憩		
5	11:05	— 11:10	杉浦 幸之助	富山大学	気候変動が吹雪に与える影響の実態把握
6	11:10	— 11:15	外田 智千	国立極地研究所	固体地球科学的アプローチによる北極域環境変動研究
	11:15	— 11:20	(質疑応答)		
7	11:20	— 11:25	安成 哲平	北海道大学 北極域研究センター	北極圏及び周辺域の大気汚染影響を受ける多様な分野の影響評価手法の開発とその影響評価
8	11:25	— 11:30	植山 雅仁	大阪公立大学	北方林におけるタワー観測を用いた温室効果気体交換量と水循環の長期モニタリング
9	11:30	— 11:35	竹内 望	千葉大学	北極域の氷河・積雪の微生物生態系とバイオアルベド効果の解明
	11:35	— 11:40	(質疑応答)		
座長			山口 一		
10	11:40	— 11:45	鈴木 和良	海洋研究開発機構	山岳永久凍土荒廃による河川を通じた物質循環の変容
11	11:45	— 11:50	山口 一	国立極地研究所	北極域研究船利用計画WG活動報告
12	11:50	— 11:55	庭野 匡思	気象研究所	北極域の氷床・氷河・季節積雪の将来変化予測
	11:55	— 12:00	(質疑応答)		
	12:00	— 13:00	昼休み		
座長			矢吹 裕伯		
13	13:00	— 13:05	杉山 慎	北海道大学 低温科学研究所	グリーンランド・カナック村における気候・自然・社会の変化
14	13:05	— 13:10	末吉 哲雄	海洋研究開発機構	北極陸域における水銀等の物質動態
15	13:10	— 13:15	末吉 哲雄	海洋研究開発機構	山岳氷河域の温室効果ガス収支
	13:15	— 13:20	(質疑応答)		
16	13:20	— 13:25	平譚 享	国立極地研究所	海氷タイプに着目した低次生物生産過程の評価
17	13:25	— 13:30	菅沼 悠介	国立極地研究所	北極海・グリーンランドにおける長期的海氷・氷床変動メカニズムの解明
18	13:30	— 13:35	飯塚 芳徳	北海道大学 低温科学研究所	グリーンランド南東ドームにおける深層アイスコア掘削
	13:35	— 13:40	(質疑応答)		
19	13:40	— 13:45	堀 雅裕	富山大学	人工衛星観測に基づいた北極域における雪氷・水循環変動の監視データセット構築とメカニズム解明
20	13:45	— 13:50	藤田 秀二	国立極地研究所	極地氷床の変動を調べるエアロゾル - グリーンランド氷床と北極圏氷帽氷の変態および変形プロセス
21	13:50	— 13:55	内田 雅己	国立極地研究所	生物多様性と物質循環の統合的研究
	13:55	— 14:00	(質疑応答)		
22	14:00	— 14:05	西野 茂人	海洋研究開発機構	SAS II および pan-Arctic DBOによる国際連携観測
23	14:05	— 14:10	川合 美千代	東京海洋大学	“Polar Morning”における大気-海氷-海洋間のフラックス観測
24	14:10	— 14:15	漢那 直也	東京大学	北極砕氷船を利用した海氷上観測研究の新展開
	14:15	— 14:20	(質疑応答)		

25	14:20	—	14:25	池上 隆仁	海洋研究開発機構	北極海に流入・蓄積する人為起源汚染物質の観測
26	14:25	—	14:30	松野 孝平	北海道大学 大学院水産科学研究院	海氷融解に伴う物理・化学環境の変化が北極海の海洋生態系および物質循環に与える影響の評価
27	14:30	—	14:35	松野 孝平	北海道大学 大学院水産科学研究院	氷海生命科学
	14:35	—	14:40	(質疑応答)		
28	14:40	—	14:45	伊東 素代	海洋研究開発機構	海洋環境の長期時系列観測
29	14:45	—	14:50	安中 さやか	東北大学	北極海炭酸系マッピング
30	14:50	—	14:55	山本 正伸	北海道大学 大学院地球環境科学研究院	北極海の酸性化はいつ始まり、どのように進展してきたのか
	14:55	—	15:00	(質疑応答)		
	15:00	—	15:10	休憩		
座長				山口 一		
31	15:10	—	15:15	Vigan Mensah	北海道大学	T-S and oxygen isotope measurements for estimation of ice-melt and meteoric freshwater amounts in the Pacific Arctic region.
32	15:15	—	15:20	大島 慶一郎	北海道大学 低温科学研究所	衛星による物理データと生物化学データの融合研究及びその現場検証
33	15:20	—	15:25	早稲田 卓爾	東京大学/海洋研究開発機構	北極航路支援のための知的観測網構築
	15:25	—	15:30	(質疑応答)		
34	15:30	—	15:35	渡邊 英嗣	海洋研究開発機構	北極海領域モデリングによる海洋環境変動研究
35	15:35	—	15:40	小平 翼	東京大学 新領域創成科学研究科	氷縁域の物理プロセスに着目した海氷予測の高度化
36	15:40	—	15:45	平田 貴文	特定非営利活動法人Digital北海道研究会	海洋生態系サービス
	15:45	—	15:50	(質疑応答)		
37	15:50	—	15:55	木村 詞明	東京大学 大気海洋研究所	実用的な北極海水情報提供のための研究の推進
38	15:55	—	16:00	宇都 正太郎	北海道大学 北極域研究センター	AI技術を活用したIce chartの高度化及び国際標準の提案
39	16:00	—	16:05	金野 祥久	工学院大学	北極航路利用の安全性評価の高度化—数値氷海試験水槽の実現
	16:05	—	16:10	(質疑応答)		
40	16:10	—	16:15	松沢 孝俊	海上技術安全研究所	北極域研究船をプラットフォームとした環境モニタリング及び航行支援システムの構築
41	16:15	—	16:20	松沢 孝俊	海上技術安全研究所	工学研究のための実験基盤及び実験技術の研究
42	16:20	—	16:25	猪上 淳	国立極地研究所	定常船上気象観測の強化によるエアロゾル・雲・降水系の研究推進
	16:25	—	16:30	(質疑応答)		
	16:30	—	16:35	休憩		
座長				羽角 博康		
43	16:35	—	16:40	冨川 喜弘	国立極地研究所	北極域超高層観測ネットワークから探るジオスペース環境変動の研究
44	16:40	—	16:45	吉森 正和	東京大学 大気海洋研究所	将来予測のための大気・海洋・海氷相互作用の体系的理解
45	16:45	—	16:50	小室 芳樹	海洋研究開発機構	より精緻な北極域気候予測に向けた数値モデル内物理過程の高度化
	16:50	—	16:55	(質疑応答)		
46	16:55	—	17:00	本田 明治	新潟大学	極端現象の発現に関わる極域・熱帯双方向作用結合系の理解
47	17:00	—	17:05	小池 真	東京大学 理学系研究科	北極域の気候システムに関わるエアロゾルと雲の統合的研究
48	17:05	—	17:10	滝川 雅之	海洋研究開発機構	北極低緯度域を中心とした大気物質ライフサイクルの解明
49	17:10	—	17:15	後藤 大輔	国立極地研究所	北極域における温室効果気体研究
	17:15	—	17:20	(質疑応答)		
座長				大西 富士夫		
50	17:20	—	17:25	大西 富士夫	北海道大学	複雑化する北極域政治の総合的解明の深化・拡大と政策的研究の充実
51	17:25	—	17:30	柴田 明穂	神戸大学 極域研究協力センター	北極域に関する国際法制度研究
52	17:30	—	17:35	山内 恭	国立極地研究所/ (公財) 極地研究振興会	JCARの役割と将来?
	17:35	—	17:40	(質疑応答)		
	17:40	—	17:55	総合討論		
閉会の言葉	17:55	—	18:00	山口 一		
(発表なし)						
53				塩崎 拓平	東京大学 大気海洋研究所	環境ゲノム情報から明らかにする北極海の物質循環過程
54				的場 澄人	北海道大学 低温科学研究所	季節海水域における水・物質循環の実態把握と気象・大気環境への影響評価